

国鉄「分割・民営化」反対／三里塚二期工事阻止！

動労千葉の牽引車だ！

日刊 勤勞千葉

1988.2.4
No. 2751

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

木更津支部定期大会は、一月三十日十四時から、割烹「大和」において代議員・傍聴者四十名を結集して開催され、八八年の闘う方針を満場一致で決定した。大会は、岡田副支部長の開会のあいさつではじまり、荒井副青年部長を議長に選出し進められた。

全組合員の総決起で
木更津支部破壊をはね返す

支部を代表して斉藤支部長は、「当局は分割・民営化（組合つぶし）に失敗し、それがゆえに強権的労務支配でおそいかかつてきている。支部においても、十月から連日運行部がはいり、われわれの運動と団結を崩そうとしている。しかし、われわれは全員で組合バッヂを着用し、指針の唱和を拒否し勝利してきた。『六三・三ダイ改』△八は、支部の根幹をゆるがす合理化であり、運転保安上も含め重大な問題である。あらゆる戦術を駆使して全力で粉碎しよう。反動区長鮎川を追放するまで闘おう」と訴えた。

木更津地区労鳥井田氏、
本部中野委員長が来賓のあいさつ

来賓には、君津・木更津地区労の鳥井田氏と本部より中野委員長、山口副委員長が出席された。鳥井田氏（副議長）からは「動労千葉は、分割・民営化攻撃を最先頭で闘い、地区労においても中心で闘っていることに敬意を表します。みなさんの闘いが教訓になります。ともにがんばりましょう」との激励のあいさつを受け、本部を代表し中野委員長は、「四月以降、木更津支部が動労千葉を牽引し、最も注目されている。木更津の点呼での闘い、運動は各支部に広がっている。東日本当局は、今後六万人に合理化し保守部門の全面外注などを通し実施しようとしている。今からいつでも反撃できる体制を築こう」と訴え、その他、出向問題、いすみ鉄道支部結成、全民労連反対などについて提起がなされた。

「六三・三ダイ改」粉砕へ向け
熱心な討議

各氏のあいさつのもと、外山書記長が方針提起
半田財政部長より予算案提起、白石会計監査委員
から会計監査報告を受けて一括討論に入つた。
質疑応答のなかでは、

※「六三・三ダイ改」△八について
ダイ改の団交の内容等

※五七予科生のハンドル訓練について

※二月一日からの多能化教育について

※五五・五六予科生の乗務員としての見通し

※A・B運用の見直しについて出してほしい

等の質問が出され、本部・支部より答弁をうけた。この後、運動方針が採択され、最後に支部長の団結ガンパロー三唱で大会を終了した。

大会終了後旗びらきを開催

十八時から、同じ会場で旗びらきが開催され、二月一日より駅へ強制的に転勤させられる野村、斉田、鈴木君より決意表明を受けた。三名の仲間、**「どこへ行っても木更津支部の一員としてがんばる」**、固い決意を述べ、旗びらきも、なごやかな雰意気のなか、大成功のうちに終了した。

△役員体制▽

支部長	齊藤 勇
副支部長	山田 護
書記長	岡田 徹
執行委員	外山 義章
	白石 洋
	半田 幸男
	島野 三喜雄
	朝生 富夫
	牧野 光一
特別執行委員	佐久間 英雄
	嶋田 喜彦
會計監査	鈴木 嘉夫

特別執行委員

4F 會議室

二月七日 (日) 13:00

千葉市民会館

二月七日
千葉市
4F

2月7日(日)

家族会総会

千葉市民会館
4F会議室

二月七日(日)
13:00

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！